



	書名	著者名	請求記号
1	「織細さん」の本:「気がつきすぎて疲れる」が驚くほどなくなる	武田友紀著	141/Ta
2	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー:the real British secondary school days	ブレイディみかこ著	376/Br
3	砂漠の女ディリー	ワリス・ディリー著、武者圭子訳	289/Di
4	うちの息子はたぶんゲイ(1)、(2)	おくら著	367/Ok/1、367/Ok/2
5	娘に語る人種差別	タハール・ベン・ジェルーン著、松葉祥一訳	316.8/10
6	「いのち」の近代史:「民族浄化」の名のもとに迫害されたハンセン病患者	藤野豊著	498.6/4
7	みんなたいせつ:世界人権宣言の絵本	東菜奈構成・訳、渋谷敦志写真	316/Hi
8	THIS IS JAPAN :英国保育士が見た日本	ブレイディみかこ著	302/Br
9	精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときにはまず読む本:「横綱級」困難ケースにしないための技と型	小瀬古伸幸著	492.9/Ko
10	三つ編み	レティシア・コロンバニ著、斎藤可津子訳	953/Co
11	鴻上尚史のほがらか人生相談:息苦しい「世間」を楽に生きる処方箋	鴻上尚史著	914/Ko
12	白人ナショナリズム:アメリカを揺るがす「文化的反動」	渡辺靖著	316/Wa
13	上司と部下の深いみぞ:パワー・ハラスメント完全理解	岡田康子編著	366.3/2
14	「女装と男装」の文化史	佐伯順子著	367.2/Sa
15	ルーマニア・マンホール生活者たちの記録	早坂隆著	368.2/1
16	ぼくは12歳、路上で暮らしあ始めたわけ。:私には何ができるですか?その悲しみがなくなる日を夢見て	国境なき子どもたち編著	369/Ko

「気がつきすぎて疲れる」か「驚くほどなくなる

「穂絨さん」の本

著: 武田友紀

最近、お笑い芸人のロンドンブーツ1号さんが自分はHSP(とても敏感な人)だと公表していますよね。著者自身もHSPであります。HSPは他の病気ではなく「生まれ持った気質」です。どうして自分は何でこんなに“気にしい”なのだろうと悩んでいる人は他にもそういう人はたくさん居ると知れて安心になりますか? ではないでしょうか。他人の言動なんて“気にしない”という人は、世の中にはそう感じて生きている人も居るのだと知れる良い機会になる1冊だと思います。

それで、色々な考え方や生きかたしている人が居て、皆必ずしも夫して生きているんです。

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

The Real British Secondary School Days

ブレイティナロニ著

名門小学校からほぼ底辺中学校へ自ら進学した。息子の日常を、少しづつ丁寧に綴ったノンフィクションドキュメント。富裕層と貧困層に二極化している英國社会のハードな現実をそのまま体現しているやのよくな学校行事、学校の中にも外にもある、あらさまな人種差別、浮浪者と相手にしたボランティア…。

大人でもぎょっとするような出来事に真正面からぶつかりしていくエッセイブルーな中学生の柔軟な感性がとても好ましい一冊です。

砂漠の女 ディリー

著 ワリス・ディリー

本書はワリス・ディリーの
真実の物語であり、ここに
語られている出来事はどれも
ワリス自身の記憶に基づく事実である。
(本文より)

ソマリア砂漠に暮らす遊牧民だ。たワリスは、
ラクダと交換で老人と結婚させられそうになり逃げだしたところから、全てが
始まりました。そこからロンドンへ渡り、スーパー・モデルになる道を進むことによります。
その中でも、衝撃的だったのが、遊牧民の時に行われたFGM…(女性性器切除)
についてでした。アフリカで「大昔から行われている風習で」ワリス自身の体験も書か
れていました。自分が「女性であることを恨んでしまったうな、とても恐ろしく悲し
いことだ」と思いました。それでも、ソマリアに産まれ育ったことを誇りに思いました。
モデルとして活躍するワリスを、同じ女性として尊敬します。
FGM 魔術的に行なわれています!

たぶん うちの ケイ

著 おくら

自分の家の誰
かがLGBTだ、
たとしたらあなたは
どう感じますか?自分の
息子がケイだったとしたら?
そんなお母さん目線で描かれて
いる(時々、本と他の家族)とても暖かい
雰囲気のコミックエッセイです。

作者のおくらさんはそんな息子と同じ立場の方で、
この作品をきっかけに母親へカミングアウトされた
そうです。もしかしたら、おくらさん自身が親に言つてもらい
たか、たこと、してもらいたいかつたことかが詰まっているのかも
しません。そんな想を踏まえつつ、ぜひ色々な人に
読んでもらいたいです。

娘に語る人種差別



アーレ・ベン・ジエラード著
松葉祥一訳

日本で普通に暮らしているとつい思わずかちたがり、「人間はいつでも言葉かにとて外国人」(P.22エリ)である。コビニ店員などで外国人の方を見かけた不統合もますます増えてきたが、その瞬間に例えは「中国人=〇〇」「アメリカ人=△△」などと勝手に定義付けてしまいだらうかの人生で、個人を知ることでしてできないのに、知らない間に根付いている偏見をよくすれば、結局P.30の言葉のことをすらしかねないかも知れない。

「学ぶこと。自分で教育すること。反省すること。あらゆることを理解しようとすること。人間に関わるすべてのことに対する興味がある」という態度を示すこと。

「いのち」の近代史

「民族浄化」のススのもとに

迫害されたハンセン病患者

ハンセン病(らい病)は1996年にらい病予防法が廃止されたことは、その当事者や家族は長年就学、就労や結婚などで差別を受けてきた。本書によると、1849年にはすでに市民レベルで知られていたらい病。2019年にはようやく戦争にはじめて国が責任を認められて。今世界中でパンデミックを引き起こして、子COVID-19。例え病気かによっては差別はきっと残る。過去から学べること。
19世紀33。

世界人権宣言の絵本

みんなよたいいせつ

東菜奈 構成・訳
渋谷 敦志 写真

1948年12月10日、「世界人権宣言」が国連で採択された。すべての人があわせに自分らしく生きるためにの権利が書かれている。

国境なき医師団日本主催1999年MSFフォトジャーナリスト賞と受賞。日本写真家協会展金賞、視点賞なども受賞したフォトジャーナリスト渋谷敦志氏の **人(タカハシ子ども)** を撮影した写真が魅力的。メッセージがたくさんこめられている。

THIS IS JAPAN

ブレイティみか

英国保育士が見た日本

人権とは、**アフォード**（支ね）する力も、**コミュニケーション力**も、**すべての**人々が人間が失ってしまったときにそこにある、やがて失をまどいと受け止めてくれるもの」とイギリス在住の筆者はいう。「貧困」「格差」「不平等」…日本の2015~16年にかけ現実を、イギリスと対比しながらつづかれてポタージュ読み終ると、日本の若者の一冊として、何か言いたくなります。それが1冊です。

精神疾患ともつ人と、病院でない戸で支援するときには『読み本』 “横糸網編”困難ケースにしないための枝と型

人を差別しているいけないことと当たり前に思っても、実際同じ思考ができないと接することが大変な場合がある。接客という立場などでは対応できないとクレームとして問題題になるとモ…。本書は“訪問看護”という特殊な仕事のノウハウをまとめたものではあるが、様々なケースでコミュニケーションが難しい人との対話の仕方を事細かに記しており、その相手の主体性を尊重する「枝」と「型」は万人の対話の参考となるものばかりではないか。

三つ編み

レティシア・
コロンバに作

フランス人の映画監督である著者の初の小説。
刊行前から話題をあつめベストセラーとなり、
自身による映画化も決まっている。

3つの大陸のそれぞれの国と舞台に生きる3人の女性の小説です。小説としての面白さも特筆すべきですが、今回取り上げたいのはフェミニズムの描かれ方です。ここで「兼煙」してしまう人々に、ひとまず巻末の解説を読んでほしい、全てがまとめられています。この物語の中のヒロインは女性であることでハンデを負っているけれど、女性の敵は男性と描かれていません。映画監督ならではのフラットな視点と巧みなシーンのつなげ方で3人の人生を編み込んで物語を結んでいます。読めばインドのスミタのことには忘れられまいでしょう。「スクールカースト」など軽々しい言葉で人と分断しきりにされることで日常にある人にはスミタの運命と共に置いてほしいです。

鴻上尚史のほがらか人生相談

コロナ禍でマスク着用に対する各国民性を表す指示のショーケとして「ヒーローになるよ」の、「それがルールらしい」のなどと紹介されていました。日本はルールじやないの?と思ったかべ、は「みんななつけてるよ」であった。同調圧力。確かにコロナの症状以上に恐ろしいのは世間の目だといふ者都市伝説ならぬ田舎伝説のようアメコロナ差別話があちこちで起きていた。舞台演出といふ様々な人間関係の中でものをつくる経験から深い回答が人気の人生相談。中には同調圧力についての洞察もあり、今改めて必読ではと思う。

白人ナショナリズム アメリカを揺るがす「文化的反動」

白人による黒人殺害事件やその抗議デモでアメリカは騒然としています。スポーツや音楽の業界では、抗議ストライキが起き、ゲーム業界ではイベントやコンテンツ配信の延期で抗議をするなど各方面で非難の声が上がっています。ところで、アメリカの人種問題はどういった流れや考え方があるのでしょうか?「白人ナショナリズムって何?」と思われたのなら、ぜひ読んでみて下さい。



上司と部下の深いみぞ

10ワーハラスメント完全理解

もはや社会問題と言っても過言ではない10ワーハラ。

10ワーハラが「一体どんづく構造で、どんづく環境で起る
やすいのか、また、どのように人か「加害者・被害者」にならやす
のか」が「かねてから行われているのが本書です。見えない問題圧力や
昭和時代の重いきつ慣習、ゆとり世代の特有のゆるさなど
自分のふるまいが周りにどのような影響を与えていたか、
考えてみるひとときになります。



「女装と男装」 の文化史

マンガから古典芸能、映画、演劇、文学など、古今東西を問わず
様々に登場する男装・女装するキャラクター
彼らにはいったいどんな物語があるのだろうか
様々な文化、社会、時代背景もおりませ
それらから見えてくる人間の生の多様性に迫る



チャウシェスクの子どもたちとも呼ばれ
マンホールで生活する貧困の記録

マニホール ルーマニア 生活者たちの 記録

路上生活者など、貧困問題の多く
アジア、アフリカ、中南米での話だと
思われがちだが、東欧の小国ルーマニアにも
マンホールの中で生活する人々がいる。

“ストリートチルドレン”
一度は聞いたことのある言葉。
では実際のストリートチルドレンは
どのような生活をおくっているのか…

ストリートチルドレンの現状を
知り、私たちには何ができるのか。

子どもを守るために
子どもの権利を考える。

はじめたわけ。
路上で暮し
ぼくは12歳。
私のせなにができますか?
私の悲しみがなくなる日を夢見て





MEMO





MEMO





愛知学院大学
歯学・薬学図書館情報センター

コンセプトコーナー 2020年11月

わたしとあなた。同じようで違う私たちの心に潜む境界線。

読んで知って、人権と尊厳を考える。

